February 2017

技術部ニュース

Newsletter

第 20 号

理工学系技術部広報誌　平成 29 年 2 月 9 日発行

「第 15 回群馬大学理工学系技術部技術発表会」開催報告

平成 28 年 9 月 13 日（火）に 1 号館 4 階第 1 会議室・第 2 会議室で第 15 回群馬大学理工学系技術部技術発表会を開催しました。今年も内部からは平塚学長、窪田理事、篠塚理工学部長、石田事務長にご列席いただくとともに、外部からは 10 名（茨城大学 4 名、埼玉大学 2 名、筑波大学 1 名、群馬高専 3 名）の聴講参加があり、内外合わせて 55 名の参加がありました。

今年も学長、理工学部長の挨拶を頂戴してから、技術発表会の幕が開かれました。午前の部は口頭発表 2 件と特別講演、午後の部は特別講演とポスター発表 3 件、口頭発表 5 件（新規採用者発表 1 件、技術関連発表 2 件、退職者発表 2 件）が行われました。今回の特別講演では、内部講師と外部講師の 2 講演を実施しました。午前は知能機械創製部門の中沢信明先生から福祉機器に関するハンズフリーインタフェースを題材とした講演を、午後は名古屋工業大学玉岡悟司技術部次長から名古屋工業大学技術部についての講演を頂きました。本発表会では毎回、特別講演を行っていますが、外部講師による講演は今回が初めての取り組みになります。国立大学の法人化以降、技術部も時代の流れに伴い業務の多様化・複雑化や技術職員数の減少など多くの課題を抱えてきました。他大学ではどのように技術職員組織を運営しているかを聴く機会の場として企画しました。参加者は、両講師の講演を熱心に聴き、積極的に質疑を行っておりました。

今回の発表会を終え、新規採用者の紹介や発表、外部講師による講演など新しいことを企画してみて、参加者の反応を見る限りでは成功だったのではないかと思います。これまで技術発表委員会では、技術発表会をより良いものにするため、毎年改善を行ってきました。来年も技術発表会は継続されますが、委員会や名称が変更になる予定です。今後も技術発表会が、技術職員あるいは技術部、さらには群馬大学にとって実のあるものにしていけたらと思います。

（文責：技術発表委員会委員長　鈴木）

「2016 ぐんだいで遊ぼう！ものつくり体験・おもしろ探検」報告

群馬大学理工学系技術部では技術職員の業務で得た技術と知識を活かし、地域の子供たちに科学への興味と楽しさと身近な大学を知ってもらう事を目的として今年度も 2016 ぐんだいで遊ぼう！「ものつくり体験・おもしろ探検」を平成 28 年 8 月 19 日（金）に開催した。

内容は、① エコ！紙をすいてハガキをつくろう②葉脈標本を作ろう③ホバークラフトをつくろう ④歩くおもちゃ！⑤パソコンの分解と組み立て体験 ⑥永久コマの 6 テーマで実施した。

桐生市、みどり市の小学校 4～6 年生を対象にパンフレットを配布し、理工学系技術部ホームページにも募集の掲示を行った。応募者は桐生市、みどり市、その他の県内地域、県外の足利市、佐野市、鹿沼市などから 91 名の応募があり、抽選により参加者 89 名を確定した。当日は欠席等もあり、82 名で実施した。

当日は、科学に興味のある小学生と保護者で主会場の

総合研究棟も賑わい、参加者は各テーマに分かれて技術職員の指導の下、ものづくりを行った。

参加者と保護者にそれぞれ行ったアンケートを集計した結果、参加者および保護者共にイベントを楽しめたようである。内容についても好評であった。今後はアンケート結果を参考にし、テーマの改変、内容を検討し、より良いイベントになるように計画して行きたい。

地域貢献委員会は企画から募集、会場設定、教育委員会との交渉など、イベントがスムーズに実施できるように年度初めより準備を進めてきた。また、技術職員全員の協力なくしては成立しないイベントであり、協力していただいた技術職員の皆様には感謝している。

このイベントを実行するにあたり、共同開催の独立行政法人国立赤城青少年交流の家には予算執行の全面委託、司会と子供向け親睦タイム（アイスブレイク）など多岐に渡りサポートしていただいた。財団法人群馬大学科学技術振興会、パンフレットの配布にご協力をいただいた桐生市とみどり市の両教育委員会、工学クラブから後援をいただき、無事終了できたことを感謝する。

（文責：近藤）

機械センター部門による学生向け技術・安全講習会について

理工学系技術部の研修委員会では、技術職員自身のスキルアップのため、研修の設定、資格取得の推進、近隣大学の技術発表会や全国規模の技術研究会への職員の派遣などを行っていますが、学生に対して何ができるかとの考えから検討を行い、部門毎に「学生向け技術・安全講習会」を実施するに至り、今回で3回目の開催となります。

機械センター部門では平成28年8月29日（月）30日（火）の各日10：00～16：00太田キャンパス産学研究棟機械工作室にて、「初心者のための機械加工基礎講習（マシニングセンタ）」と題する講習会を開催しました。マシニングセンタ（NC工作機械）を使った機械加工やCAD/CAMによるプログラム作成など、機械加工の基本技術を講義と実技を通して学習し、マシニングセンタの概要、機械操作の基礎、機械加工の安全等を学び、機械加工の楽しさや難しさを体験させることを目的としました。講習は、講義1時間、実技4時間行いました。

マシニングセンタとは、金属等を削る加工を目的とし、複数の回転工具を有し、コンピュータにより工具の移動や交換を自動で行うことができる産業界で広く普及している工作機械です。

参加者は、CAD/CAMを使用して名前入りのキーホルダーを設計し、加工プログラムを作成しました。作成したプログラムをマシニングセンタへ転送し、NC加工により名前入りのキーホルダーを製作しました。理工学部、理工学府の学生を対象に各日に定員4名、合計8名で募集し、参加者数は、学部生5名、院生3名でした。アンケートに寄せられた参加者からの意見より、本講習のNC工作機械によるものづくりの一連の流れを経験したことで、今後の就職活動や就職後のものづくり業務に役立てることができるとの回答があり、今後もこのような講習を実施できるよう努めていきたいと思います。

この場をお借りして、研究室内の学生へ講習案内のアナウンス等ご協力を戴きました教員の方々、事務系職員、技術職員の方々のご支援とご協力に感謝申し上げます。

※　講習会の資料については下記に掲載しています。

http://www.tsk.st.gunma-u.ac.jp/~kensyu/kosyu2016.htm

（文責：山本）

講習会の様子